

# JIS

## 官能評価分析－方法

JIS Z 9080 : 2004

(JSSE/JSA)

(2005 確認)

平成 16 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 基本技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	今井 秀孝	独立行政法人産業技術総合研究所
(委員)	大井 みさほ	東京学芸大学名誉教授
	尾島 善一	東京理科大学
	加藤 久明	日本デザイン学会
	小林 経明	社団法人日本鉄鋼連盟
	小松原 仁	財団法人日本色彩研究所
	近藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	橘 秀樹	東京大学
	田森 行男	財団法人日本品質保証機構
	徳岡 直静	慶應義塾大学
	八田 勲	財団法人日本規格協会
	藤 咲 浩二	社団法人日本産業機械工業会

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 54.3.1 改正：平成 16.3.20

官 報 公 示：平成 16.3.22

原 案 作 成 者：日本官能評価学会（〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1 丁目 1-1 東京農業大学応用生物科学部醸造化学科内 TEL 03-5477-2378）

財団法人日本規格協会（〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573）

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 二瓶 好正）

審議専門委員会：基本技術専門委員会（委員長 今井 秀孝）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本官能評価学会 (JSSE)／財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 9080** : 1979 は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正は、日本工業規格を国際規格に整合させるため、**ISO 4120** : 1983, Sensory analysis – Methodology – Triangular test, **ISO 4121** : 1987, Sensory analysis – Methodology – Evaluation of food products by methods using scales, **ISO 5495** : 1983, Sensory analysis – Methodology – Paired comparison test, **ISO 6658** : 1985, Sensory analysis – Methodology – General guidance, 及び **ISO 8587** : 1988, Sensory analysis – Methodology – Ranking を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

**JIS Z 9080** には、次に示す附属書がある。

- 附属書 1 (参考) 統計用語
- 附属書 2 (参考) 2 点試験法の回答用紙の見本
- 附属書 3 (参考) 2 点試験法の実例
- 附属書 4 (参考) 3 点試験法で可能な拡張
- 附属書 5 (参考) 3 点試験法の回答用紙の見本
- 附属書 6 (参考) 単純 3 点試験法の実例 (“強制選択” オプション)
- 附属書 7 (参考) 順位法の回答用紙の見本
- 附属書 8 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

## 目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	2
4. 一般的要件	2
4.1 基礎知識	2
4.2 問題点の記述	3
4.3 試験方法の選択	3
4.4 評価者の選抜及び訓練	3
4.5 感度試験	4
4.6 試験に用いる材料	4
4.7 試験室	5
4.8 器具	5
4.9 試験の実施	5
5. 試験方法	5
5.1 試験方法のタイプ	5
5.2 識別試験法	6
5.3 尺度及びカテゴリーを用いる試験方法	8
5.4 分析形試験法又は記述的試験法	10
6. 結果の解析	11
6.1 一般	11
6.2 識別試験法	11
6.3 尺度及びカテゴリーを用いる試験方法	13
6.4 分析形試験法又は記述的試験法	14
7. 試験方法の詳細	14
7.1 一般	14
7.2 2点試験法	15
7.3 3点試験法	16
7.4 順位法	17
7.5 間隔尺度又は比率尺度を用いる試験方法	18
7.6 製品を分類するために順序尺度を用いる試験方法	20
附属書 1 (参考) 統計用語	30
附属書 2 (参考) 2点試験法の回答用紙の見本	32
附属書 3 (参考) 2点試験法の実例	33
附属書 4 (参考) 3点試験法で可能な拡張	35

	ページ
附属書 5 (参考) 3 点試験法の回答用紙の見本 .....	36
附属書 6 (参考) 単純 3 点試験法の実例 (“強制選択” オプション) .....	37
附属書 7 (参考) 順位法の回答用紙の見本 .....	38
附属書 8 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 .....	39
解 説 .....	55

白 紙

# 官能評価分析—方法

## Sensory analysis—Methodology

**序文** この規格は、1983年に第1版として発行された **ISO 4120**, Sensory analysis—Methodology—Triangular test, 1987年に第1版として発行された **ISO 4121**, Sensory analysis—Methodology—Evaluation of food products by methods using scales, 1983年に第2版として発行された **ISO 5495**, Sensory analysis—Methodology—Paired comparison test, 1985年に第1版として発行された **ISO 6658**, Sensory analysis—Methodology—General guidance 及び 1988年に第1版として発行された **ISO 8587**, Sensory analysis—Methodology—Ranking を翻訳し、日本の実情に合わせ、技術的内容を変更して作成している。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、原国際規格の内容を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 8 (参考)** に示す。

**1. 適用範囲** この規格は、官能評価分析に関する一般事項及び主な試験方法について規定する。

**備考** この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21** に基づき、IDT (一致している)、MOD (修正している)、NEQ (同等でない) とする。

**ISO 4120** : 1983, Sensory analysis—Methodology—Triangular test (MOD)

**ISO 4121** : 1987, Sensory analysis—Methodology—Evaluation of food products by methods using scales (MOD)

**ISO 5495** : 1983, Sensory analysis—Methodology—Paired comparison test (MOD)

**ISO 6658** : 1985, Sensory analysis—Methodology—General guidance (MOD)

**ISO 8587** : 1988, Sensory analysis—Methodology—Ranking (MOD)

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。規格のうちで、発行年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。発効年又は発行年を付記していない引用規格は、その最新版 (追補を含む。) を適用する。

**JIS Z 8144** 官能評価分析—用語

**備考** **ISO 5492** : 1992, Sensory analysis—Vocabulary からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

**JIS Z 9015-0** 計数値検査に対する抜取検査手順—第0部 : JIS Z 9015 抜取検査システム序論

**備考** **ISO 2859-0** : 1995, Sampling procedures for inspection by attributes—Part 0: Introduction to the **ISO 2859** attribute sampling system が、この規格と一致している。

**JIS Z 9015-1** 計数値検査に対する抜取検査手順—第1部 : ロットごとの検査に対する AQL 指標型抜取検査方式